平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月29日

上場会社名　マガシーク株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3060　URL　http://www.magaseek.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井上　直也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長　(氏名) 今田　弘仁　TEL 03-5212-5296
四半期報告書提出予定日　平成21年11月12日
配当支払開始予定日　―

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,938	△2.8	65	△64.3	61	△68.6	35	△69.6
21年3月期第2四半期	4,051	―	184	―	196	―	115	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1,655.28	―
21年3月期第2四半期	5,447.29	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	3,734	2,779	74.4	131,193.30
21年3月期	4,060	2,826	69.6	133,401.02

(参考) 自己資本　22年3月期第2四半期　2,779百万円　21年3月期　2,826百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	―	0.00	―	3,863.00	3,863.00
22年3月期	―	0.00			
22年3月期(予想)			―	1,416.00	1,416.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	9.3	172	△62.3	172	△62.9	100	△63.3	4,719.20

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更　無
② ①以外の変更　無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第2四半期	21,190株	21年3月期	21,190株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	―株	21年3月期	―株
③ 期中平均株式数（四半期累計期間）	22年3月期第2四半期	21,190株	21年3月期第2四半期	21,190株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

１．経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年の金融危機による景気低迷から一部持ち直しの兆しがあるものの、依然として実体経済の低迷が続いており、企業収益の悪化や雇用環境の深刻化等により景気は低調に推移しました。

当社が属する衣料小売業界におきましては、厳しい雇用や所得環境による消費者の生活防衛意識や低価格志向が一層強まったことから、個人消費は低迷し、商品単価の下落が進みました。

このような環境の中、当社は人気ファッション雑誌との新規提携の推進、従来から提携している雑誌とのコンテンツ強化及びお客様ニーズにあった人気ブランドの新規導入を進めながら、当社独自の編集企画の充実を図ってまいりました。

主力のマガシーク事業では、(株)宝島社の30代女性向けファッション誌「InRed」と提携し、公式ショッピングサイト「InRed Buyers」をオープンいたしました。また、(株)ALBAの女性向けゴルフファッション誌「Regina」と提携し、「Regina Online Golf Shop」をオープン致しました。さらに、雑誌コラボ商品を中心に品揃え強化を進めながら、ユーザビリティ向上を目的としてサイトリニューアルを行いました。新規会員獲得の施策として「メールマガジン登録キャンペーン」の実施、既存会員へのサービスとして「マガシークカード10％OFFキャンペーン」、総会員数が100万人を突破したことによる「100万人突破記念キャッシュバックキャンペーン」、(株)トレジャー・ファクトリーと提携した「不用品買取査定額20％アップキャンペーン」を実施いたしました。また、当事業にて運営する「magaseek」及びメンズファッションＥコマースサイト「mfm（マガシークフォーメン）」両サイトにおいて、実施期間は異なるものの「送料無料キャンペーン」を行いました。

アウトレットピーク事業では、5,000円スーツ、お買い得感の高いお楽しみ袋、靴の均一セール、90％OFFセール販売等を行いました。

以上の結果、総会員数は、当第２四半期累計期間中に８万８千人増加し、平成21年９月末現在103万１千人（前年同期末比22.3％増）となったものの、消費者の買い控えや低価格志向の影響を受け、当第２四半期累計期間の売上高は、3,938百万円（前年同期比2.8％減）、営業利益は65百万円（同64.3％減）、経常利益は61百万円（同68.6％減）、四半期純利益は35百万円（同69.6％減）となりました。

なお、事業部門別の業績は次のとおりであります。

①　マガシーク事業

当事業は、ファッション雑誌に掲載された商品や人気ブランドの商品をインターネットで購入できるＥコマースサイト「magaseek.com」を運営いたしております。新規の人気ブランドの導入を進めた結果、平成21年９月末現在で570以上まで取り扱いブランドを拡大しました。しかしながら、低価格志向の高まりに対応するため従来よりも低価格な商品の販売強化を進めたことや、夏のセールを前倒しで実施した影響により、販売数量は増えたものの、商品単価の下落が予測以上に進みました。「mfm（マガシークフォーメン）」も当事業に含まれています。

以上の結果、当第２四半期累計期間の売上高は3,107百万円（同4.4％減）となりました。

②　アウトレットピーク事業

当事業は、人気ファッションブランドの売れ残り商品をインターネット上で値引き販売を行うＥコマースサイト「outletpeak.com」を運営いたしております。新規ブランドの導入を進めた結果、平成21年９月末現在で360以上（マガシーク事業取り扱いブランドと共通なものを含む）まで取り扱いブランドを拡大しました。また、シーズンアイテムの販売やセール等を行いました。

以上の結果、当第２四半期累計期間の売上高は821百万円（同4.8％増）となりました。

③　その他事業

広告事業等を行っており、当第２四半期累計期間の売上高は９百万円（同44.4％減）となりました。

２．財政状態に関する定性的情報

当第２四半期末の総資産額は、3,734百万円となり、前事業年度末と比較して326百万円減少いたしました。主な要因は、有価証券が1,400百万円増加したものの、現金及び預金が1,478百万円及び売掛金が240百万円減少したことによるものであります。

負債総額は954百万円となり、前事業年度末と比較して279百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金148百万円及び法人税等の支払い等に伴い未払法人税等が90百万円減少したことによるものであります。

純資産は2,779百万円となり、前事業年度末と比較して46百万円減少いたしました。主な要因は利益剰余金が四半期純利益により35百万円増加したものの、剰余金の配当により81百万円減少したことによるものであり自己資本比率は74.4％となりました。

〈キャッシュ・フローの状況〉

当第２四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末から77百万円減少し、当第２四半期末では2,190百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は33百万円となりました。これは主に仕入債務の減少額148百万円及び法人税等の支払額104百万円等の資金の減少要因はあったものの、税引前四半期純利益61百万円及び売上債権の減少額240百万円による資金の増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は29百万円となりました。これは有形固定資産の取得９百万円及び無形固定資産の取得20百万円による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は81百万円となりました。これは配当金の支払いによる支出であります。

３．業績予想に関する定性的情報

売上高は新規会員の獲得に伴う総会員数の増加をベースに順調に推移する見通しです。また、第２四半期累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益は予算を上回って推移していますが、当社を取り巻く事業環境や、システム全面リニューアル等の不確定要因もあり、現時点において平成21年４月28日に公表いたしました「平成21年３月期決算短信（非連結）」における通期の業績予想から変更はございません。

４．その他

（１）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

５．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成21年９月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	789,642	2,268,095
売掛金	751,414	992,413
有価証券	1,400,540	－
商品	334,839	347,914
貯蔵品	5,924	6,458
前払費用	46,764	42,389
繰延税金資産	42,712	54,190
未収入金	35,692	32,450
その他	618	－
貸倒引当金	－	△156
流動資産合計	3,408,149	3,743,757
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	27,732	28,274
工具、器具及び備品（純額）	74,910	78,160
有形固定資産合計	102,643	106,435
無形固定資産		
商標権	43,013	45,692
ソフトウエア	36,748	35,493
ソフトウエア仮勘定	43,642	29,988
無形固定資産合計	123,404	111,173
投資その他の資産		
長期前払費用	722	－
繰延税金資産	4,657	4,355
敷金	94,577	94,577
投資その他の資産合計	99,957	98,932
固定資産合計	326,005	316,541
資産合計	3,734,155	4,060,298

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成21年９月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	632,560	781,239
未払金	228,805	257,761
未払法人税等	18,987	109,391
賞与引当金	17,707	15,735
返品調整引当金	4,937	6,389
ポイント引当金	14,558	12,953
その他	30,178	44,619
流動負債合計	947,734	1,228,090
固定負債		
退職給付引当金	6,434	5,440
固定負債合計	6,434	5,440
負債合計	954,169	1,233,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,156,618	1,156,618
資本剰余金	755,625	755,625
利益剰余金	867,743	914,524
株主資本合計	2,779,986	2,826,767
純資産合計	2,779,986	2,826,767
負債純資産合計	3,734,155	4,060,298

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
売上高	4,051,387	3,938,239
売上原価	2,897,054	2,904,377
売上総利益	1,154,333	1,033,861
返品調整引当金戻入額	6,685	6,389
返品調整引当金繰入額	6,102	4,937
差引売上総利益	1,154,916	1,035,314
販売費及び一般管理費	970,755	969,552
営業利益	184,160	65,762
営業外収益		
受取利息	3,091	676
受取手数料	7,959	2,048
その他	1,052	68
営業外収益合計	12,103	2,793
営業外費用		
倉庫移転関連費用	－	6,704
その他	－	174
営業外費用合計	－	6,878
経常利益	196,263	61,677
特別損失		
固定資産除却損	－	41
特別損失合計	－	41
税引前四半期純利益	196,263	61,635
法人税、住民税及び事業税	88,559	15,384
法人税等調整額	△7,724	11,175
法人税等合計	80,835	26,559
四半期純利益	115,428	35,075

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	196,263	61,635
減価償却費	59,339	24,036
貸倒引当金の増減額（△は減少）	272	△156
賞与引当金の増減額（△は減少）	563	1,972
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△583	△1,452
ポイント引当金の増減額（△は減少）	1,131	1,604
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,016	994
受取利息	△3,091	△676
固定資産除却損	－	41
売上債権の増減額（△は増加）	90,262	240,999
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,944	13,609
未収入金の増減額（△は増加）	6,012	△3,242
仕入債務の増減額（△は減少）	△70,844	△148,679
未払金の増減額（△は減少）	△6,124	△32,011
その他	△24,279	△21,451
小計	245,995	137,223
利息の受取額	3,091	676
法人税等の支払額	△116,551	△104,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	132,534	33,404
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,586	△9,868
無形固定資産の取得による支出	△11,563	△20,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,150	△29,897
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△78,862	△81,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,862	△81,420
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	33,521	△77,913
現金及び現金同等物の期首残高	2,137,163	2,268,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,170,685	2,190,182

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。